



「悲しい事故はもう嫌です」、「右折信号の設置、青信号の時間延長」「残り時間が表示される歩行者信号を」

通学路の安全対策 急いで

保護者と一緒に、現地立ち合い

滋賀県大津市で発生した事故では、かけがえのない児童の命が奪われました。一度と同じ事故を繰り返さない・取り組みを強化するため行政、警察にとどまらず、学校、PTA、地域住民一体での協力・協働が欠かせません。

G W後の5月8日、小山小学校の保護者と一緒に集団登校する児童の登校を視察しました。

大人では15秒弱で渡りきる横断歩道も、児童15人前後の集団登校では、25秒前後が必要です。

朝のラッシュ時間では、横断歩道ギリギリまで車の先頭部分が迫ることも多く、保護者の心配も広がっています。通勤前に同行する保護者などもいますが、全ての交差点にボランティアが立てる状況ではありません。

保護者からは「歩行者の青信号を数秒延長して」「青信号の時間表示があれば助かる」「緑のおばさん（交通安全指導員）の配置を」等の意見が聞かれました。



日本共産党 流山市議会議員
小田桐たかし



【民報号外】 19.5.14発行：日本共産党流山市議団 連絡先：小田桐 090-8567-8858